

## 平成 29 年度 就労部会ワーキング 検討状況報告書

平成 30 年 3 月 2 日 更新

部会構成メンバー	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡公共職業安定所 和田</li> <li>・障がい者就業・生活支援センターこしじ 入倉</li> <li>・工房はくさん 深川</li> <li>・ワークセンター千秋 長部</li> <li>㊦障がい者支援センターあさひ（分室こしじ）坂詰</li> <li>㊦長岡市障害者基幹相談支援センター 丸山・松崎</li> </ul> <p style="text-align: right;">※敬称略 ㊦…事務局</p>	
会議開催経過	議題・検討内容
【第 1 回】 平成 29 年 7 月 12 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会ワーキングの進め方について</li> <li>・就労ワーキング（見学システム）移行までの経緯の説明</li> <li>・平成 29 年度就労ワーキング活動方針・具体的取り組み・スケジュールについて</li> </ul>
【第 2 回】 平成 29 年 8 月 25 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先回のワーキング振り返り（活動方針、取り組み内容、活動スケジュール）</li> <li>・セルフチェックの材料の持ち寄り、すり合わせ</li> </ul>
【第 3 回】 平成 29 年 9 月 29 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフチェックシートの内容、使い方の確認</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
【第 4 回】 平成 29 年 10 月 24 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフチェックシート（ガイドライン）試行版を使用した報告</li> <li>・セルフチェックシート（ガイドライン）の修正・追加等</li> <li>・今後のスケジュール</li> </ul>
【第 5 回】 平成 29 年 12 月 27 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者雇用サポートフェアの報告</li> <li>・セルフチェックシート、見学システムについて</li> <li>・今後のスケジュール</li> </ul>
【第 6 回】 平成 30 年 2 月 6 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフチェックシートに関するアンケートについて</li> <li>・今年度ワーキングの振り返り・評価、来年度の方向性について</li> </ul>
取組 今年度 の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業を迎えるための就労移行支援事業所職員への働きかけ</li> <li>・11 月末に開催される「企業と施設との名刺交換会」に向けての準備</li> <li>・企業が見学してもらえらるための「セルフチェックシート」の作成</li> </ul>
（全体会・運営会議へ特に報告が必要な内容） 進捗・成果	<p>【第 1 回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では企業は人材不足であり、学卒や中途など即戦力の人材を求めている。そのような状況の中で企業は就労移行支援事業所等を見学する余裕はない。まずは、ハローワークで 11 月末に企画している「企業と施設との名刺交換会」で事業所側から企業へアプローチをすることが必要なのではないかと意見が出て、「企業と施設との名刺交換会」に向けて準備をすることとなった。</li> <li>・市内に数か所の就労移行支援事業所があり、事業所としての考え方や目指すところの差があるため、共通の取り組みが必要。サビ管以外の支援者でも事業所の強みや作業の目的、個々のケースなど企業に説明できるように施設全体の底上げが必要である。現場の支援者が企業にプレゼンができるように取り組んでいくこととなった。</li> </ul>

#### 【第2回】

・ワーキングメンバーそれぞれの立場で就労移行支援事業所への感じたこと（良かった点、悪かった点）を発表し、すり合わせを行った。出た意見の中で多かったものを、①あいさつ ②身だしなみ ③支援者の態度 ④来客対応 と4つの項目に分けて、各項目のセルフチェックシートのたたき台を分担して作成することとなった。9月のワーキングでセルフチェックシートの完成を目指す。

・ハローワーク新発田／村上管内で就労移行支援事業所見学会オープンキャンパス開催の情報提供があった。長岡バージョンを作る上で参考にしていく。

#### 【第3回】

・セルフチェックシート試行版を作成し内容を確認した。表紙について目立つものが良いのかシンプルなものが良いのか、構成・フォント・デザインなど使用しながら改訂していく。

・使い方について、具体的な使用例を1ページ程度「使い方ガイドブック」として作成するとより効果的なのではないか、という意見が出た。

・試行版を実際に事業所で使用して、内容や使い方の検証をしていく。

#### 【第4回】

・セルフチェックシート（ガイドライン）試行版を2事業所から使用してもらい感想を聞く。「文章表現が曖昧」「身だしなみは評価しづらい、世代によって感覚が異なる」「チェック後の第三者評価がほしい」「全ての項目に特記事項が必要」「1、2年目の職員でも分かりやすい表現だと良い」などの意見が出る。

・再度見直し、表現等の訂正・追加を行う。

・11月16日に中越圏域のサビ管へ試行版の提示をし、特記事項の意見をもらう。

・「使い方ガイドブック」も今後使用する事業所の意見を確認しながら作成していく予定。

#### 【第5回】

・11月30日に開催された「障害者雇用サポートフェア」について感想を聞く。企業15社、事業所7ヶ所が参加。見学事業所もあった。各ブースで事業所のサビ管がケースを通して事例をプレゼンした。開催後のアンケートも好意的な内容であった。参加した事業所の大半は、企業見学に繋がった。

・セルフチェックシートについて、使用後のアンケートを中越圏域会議で取り、アンケート結果を参考に次年度ガイドブックの作成、修正を行う。（初めて携わる方にも使ってもらえることを目標）

・見学システムについて、サポートフェアに参加した事業所が少ないという状況から、気軽に見学をすることはハードルが高い。全事業所がサポートフェアに参加したり、プレゼン力や意識が上がってきてからでないと難しい。ハローワークでサポートフェアの後追いを行っていく。

	<p>【第6回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中越圏域会議でセルフチェックシートの使用後アンケートの集計結果を確認した。「職員各自の振り返りと意識の向上につながった」「利用者支援においても活用できた」「定期的な自己点検の必要性を感じた」という意見が多かった一方、「評価を3段階でチェックできると良い」「文章の他に写真や図があると良い」「対象職員を明確にした方が良い」など今後改善が必要な意見もあった。来年度に向けて改善をしていく必要がある。</li> <li>・就労ワーキング振り返り・評価シートの作成を行う。</li> <li>・来年度の方向性について、セルフチェックシートのアンケート結果を受けて、ブラッシュアップを行い、中越圏域と連携していく。</li> </ul>
<p>今後の検討の方向性</p>	<p>(次回以降のスケジュールや検討内容等を記載。最新の情報に上書き。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の就労ワーキングは今回で終了。</li> <li>・セルフチェックシートのアンケート結果を反映させながら追加・修正を加えていく。</li> </ul>
<p>運営会議への伝達事項等</p>	<p>(運営会議で協議して欲しい事項など)</p>